

アメリカ合衆国イリノイ州の非営利法人である国際ロータリー（又はその後継組織）だけなのであります。ロータリー財団の管理委員に欠員が生じれば、国際ロータリーがこれを補充しなければなりません。人的な面でもこうした協同関係があることから、ロータリー財団管理委員会と法人会員である国際ロータリー理事会との合同委員会も開かれることになっております。そして機能的には、国際ロータリーはロータリー財団に対し、次の2つの責務を負うことになっております。

(1) 国際ロータリー役員と全てのロータリアンに直接参加と財団的貢献を通じて、財団プログラム、プロジェクト、活動を支援するよう奨励すること。さらにクラブ、地区、国際レベルの会合、指導力養成、教育プログラム、出版物を通じて、財団のプログラム、プロジェクト、活動をする。

(2) ロータリー財団の新プログラム、プロジェクト、活動を管理委員会に提案すること。

このように国際ロータリーとロータリー財団は切っても切れない密接な関係があるため、ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団となっているのであります。

ロータリー財団の現在の財源的規模

ロータリー財団の資産は年を経るごとに寄付額と投資収益の増加により大変大きなものに育ってきました。ロータリー財団の資金は大きく分けて年次プログラム基金、恒久基金、ポリオプラス基金等に分かれていますが、その合計額の純資産は2006年6月末で6億3700万ドル（現在の邦貨にして1ドル120円で換算すると764億4000万円）となっております。投資収益も順調であり、2001年度と2002年度に損失を計上いたしました。過去10年間の全基金の投資収益は年間平均米貨3850万ドル（邦貨で46億2000万円）となっており、順調に推移しております。米国には、20万以上の慈善団体が存在するといわれていますが、チャリティーナビゲーターの格付けでは、トップフィフティ（50位）以内に入っており、ロータリー財団の健全さがうかがい知れます。

ロータリー財団のプログラム等

ロータリー財団のプログラムは大きく分けて人道的プログラムと教育的プログラムに分けられ、前者は更にマッチンググラント（一定の条件を満たした世界社会奉仕プロジェクト）、地区補助金、ボランティア奉仕活動補助金、3日補助金に、後者は国際親善奨学金（1学年度の国際親善奨学金、学位取得のための2年の奨学金、文化研修のための国際親善奨学金、世界平和フェロシップや、GSE（研究グループ交換）等々に分かります。ロータリー財団は、これらのプログラムを使い分けて様々なプログラムを実施しています。寄付の種類については、年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付、冠名奨学金等々がありますが、詳細は省略します。

ロータリークレジットカード

皆様の絶大なるご協力によって、ロータリークレジットカードの普及が5000枚の粋を無事突破することが出来、10月からロータリー財団へ売り上げ0.3%の浄財が届くことになりました。特に2650地区の皆様方の御協力には絶大なものがあり、心より感謝申し上げます。

これからも一人でも多くの参加登録をお願いします。

ポリオ撲滅

4月に開催されたRI規定審議会でポリオの撲滅が国際ロータリーの最優先の目標であることを承認し、確認する件（決議案）として採択されました。この採択案に沿って国際ロータリーにおいても、ロータリー財団においても、新規のビッグプロジェクトが採用されるということがなくなりました。

EREYに関する当地区の目標

EVERY ROTARIAN EVERY YEAR は、ビチャイ・ラタクル元R.I.会長が策定したロータリー財団の今年度の2番目の目標であります。R.I.では、ロータリアン一人あたりの寄付目標額を100ドルに置いているためこのEREYは「毎年あなたも100ドルを」と訳されています。全世界には、約120万人強のロータリアンがいますから、目標額は100ドル×120万人＝1億2000万ドル強（邦貨で約144億円強）ということになります。しかしながら残念なことに100ドル以上を達成している国はロータリーに加盟している国や地域が全部で200以上あるのに5カ国しかありません（2006年度）。日本でさえ平均110.79ドルしか達成していません。世界の所得水準に照らすと日本にはもっと多額の寄付金が望まれています。私が、今年度の当地区の目標額を全てのロータリアンにつき年間160ドルと決定いたしましたのは、上記のような経緯があるからであります。1人年間160ドルというのは、達成不可能な数字ではありません。例を挙げて説明します。どのクラブにも喫煙者がいらっしやいます。喫煙する人は、タバコから排出される全ての煙を肺に吸収して体内に全ての煙を吸収するという事は不可能であります。タバコの煙の半分は、タバコを吸いたくないと思っている人の受動喫煙に回るか、部屋の空気を汚します。ご承知のようにタバコの煙に含まれるタールは、ハイリスクの発ガン性物質です。このようなものを他人に押し付けてよいという理屈はありません。だから要するにせめてタバコを吸う人は、半分にしていただきたらと思います。1日20本吸う人なら1日10本に、30本の人は1日15本にという具合にであります。タバコは1箱20本入りで300円であります。そうすると20本吸っている人が半分に減らすだけで1日150円浮いてきます。これを365日間貯めていただきますと、5万4000円という金額になります。160ドルは、約2万円ありますので、これなら米山奨学会の寄付目標額2万4000円と併せても十分お釣りがくることになります。

次にタバコを吸わない人をお願いします。タバコを吸わない人は、タバコ代がまるまるポケットに残っている訳であります。それをはたいて出していただきたら同じようにロータリー財団も米山もごく簡単にクリアできます。所得水準の高い日本でこの程度のことを要請しても決して罰当たりな要請ではないと思っていますので宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

最後に嬉しいニュースを申し上げます。私が公式訪問に訪れたクラブのうち3クラブで既に全会員が160ドルを達成して私を待っていてくれました。感謝感激です。ガバナー特別賞です。これら以外のクラブの皆様もどうかガバナー特別賞の受賞を目指してトライしてみてください。宜しくお願い申し上げます。